



# DAITOKU CSR REPORT 2026

*Our choices,  
shape tomorrow.*

未来をつくる、  
今日の選択。



PEOPLE



PLANET



PROSPERITY



# 目次・編集方針

## 目次

### 第1部 はじめに

- 事業概要 3
- トップメッセージ 5
- SDGsへの貢献 7
- ダイトクと資源循環型社会のつながり 8
- CSR活動の考え方 9
- 最新トピックス 11

### 第2部 事業と経営

- 経営ビジョン 13
- 事業活動 15

### 第3部 環境

- 環境マネジメント管理 16
- 組織運営と環境との関わり 17
- 環境データ（マテリアルバランス） 18
- 廃棄物フローと取扱量 19
- 環境負荷の低減 21

### 第4部 労働安全衛生・人材力の向上

- 労働安全衛生の取り組み 24
- 働きがいある職場を目指して 26

### 第5部 コミュニケーション

- 社会及び地域とのコミュニケーション 27

### 第6部 資料

- 関連会社のご紹介 29
- グループ公開情報 30

## 編集方針

株式会社ダイトクの環境パフォーマンス並びに環境マネジメント活動情報、事業と経営及びコンプライアンスへの取り組み、労働安全衛生活動や地域社会とのコミュニケーション等の情報について、ステークホルダーの皆様へ説明責任を果たすため、CSR報告書2024を公開いたします。

### 対象組織

株式会社ダイトク 全工場

### 対象期間

2026年度（2025/4～2026/3）

### 発行日

2026年5月

### 報告範囲

当社の事業並びに経営の根幹情報の開示、環境改善活動並びに安全衛生活動について報告いたします。

## CSR報告書2026発刊にあたって

今日に至るまでの当社の環境活動と安全衛生、事業と経営活動、コンプライアンスへの取り組みをステークホルダーの皆様へ情報開示し、説明責任を果たすため、このCSR報告書を有効なコミュニケーションツールと位置付け、公開を始めて以来、今回で第14号目の発刊となります。発刊にあたり、是非とも弊社の取り組み内容にご賛同、ご理解いただけましたら幸いです。





# 企業情報

## 会社概要

商号 株式会社ダイトク  
設立 1976年7月  
資本金 9,800万円  
従業員数 80名(2026年1月現在)  
(グループ全体:110名)  
売上高 2,800百万円(2025年度)  
(グループ全体:3,200百万円)

## 役員の名

代表取締役社長	星山 健
専務取締役	東 雅之
取締役総務部長	中谷 圭子
監査役	岡田 隆徳

## 事業概要

各種産業廃棄物のリサイクル  
使用済みOA機器関連のリサイクル処理  
産業廃棄物収集運搬及び処理  
一般貨物自動車運送  
産業排水処理  
有価物の加工処理

## グループ会社

大阪クリーンテック株式会社



# 企業沿革



1976年	7月	株式会社大特産業設立	2014年	8月	新在家工場に太陽光パネル設置
1978年	4月	産業廃棄物収集運搬許可 取得	2015年	1月	「使用済みトナーカートリッジ解体処理装置」特許取得
1996年	8月	一般貨物自動車運送事業許可 取得	2015年	2月	「酸化インジウム系化合物を含むプラスチック処理物の濃縮方法」特許取得
1999年	10月	OA機器・電子機器リサイクル事業開始	2015年	4月	「稀少金属の製造方法3」特許取得
1999年	12月	産業廃棄物処理業許可 取得	2015年	10月	西面工場拡張、第2工場竣工
2000年	4月	「廃プラスチックリサイクル事業」開始	2015年	11月	埼玉工場に太陽光パネルによる発電所を開設
2001年	3月	本社「ISO14001」認証取得	2017年	3月	「ISO14001:2015」認証取得
2003年	3月	株式会社ダイトクへ社名変更	2018年	8月	大阪北部地震における茨木市の災害廃棄物処理業務に協力
2003年	7月	本社・全工場「ISO14001」認証取得	2019年	7月	公益財団法人廃棄物3R研究在案より プラスチックリサイクル高度化設備補助金事業に採択
2003年	8月	羽生工場・リサイクルセンター開設	2019年	11月	埼玉工場のプラスチック高度化設備が本格稼働
2004年	3月	資本金9,800万円（増資）	2020年	11月	令和2年度「安全性優良事業所大阪運輸支局長表彰」を受ける
2005年	9月	廃プラスチック中国輸出許可 取得	2021年	6月	グリーン経営「永年登録事業所」として表彰を受ける
2005年	11月	摂津市新在家に本社移転	2022年	4月	「混合粉砕片材料の分別回収システム及び分別回収方法」特許取得
2007年	5月	代表取締役社長に星山健 就任	2022年	12月	「複合材料の分別回収システム及び分別回収方法」特許取得
2009年	4月	「稀少金属の回収方法」特許取得			
2009年	12月	安全性優良事業所認定書(Gマーク)取得			
2010年	8月	埼玉工場・リサイクルセンター開設			
2011年	6月	トラック運送事業について 「グリーン経営認証」に登録			
2011年	10月	国土交通省近畿運輸局より 優良自動車運送事業者表彰			
2011年	12月	優良産業廃棄物処理業認定 取得			
2011年	12月	優良産業廃棄物収集運搬業認定 取得			
2013年	10月	「稀少金属の製造方法1」特許取得			
2014年	1月	「稀少金属の製造方法2」特許取得			
2014年	6月	社団法人全国産業廃棄物連合会より 地方優良事業所表彰			

詳細については下記QRコードから  
ダイトクのスマホサイトをご覧ください



ホームページ 企業情報  
[https://www.daitoku-s.com/  
company/profile/](https://www.daitoku-s.com/company/profile/)



## トップメッセージ

# 私たちの一歩が、皆様一人ひとりの 快適な未来へつながる

国連SDGsやパリ協定を機に、環境問題をはじめとする社会課題の対応が企業に求められています。

地球温暖化、エネルギー資源の枯渇、気候変動等の環境課題と真剣に向き合い、脱炭素・再生可能エネルギー社会への移行に力を尽くし、未来の子どもたちのために、うつくしい地球環境を残すことこそ、わたしたちの使命であると考えます。

当社は1976年の創業以来、産業資源のリサイクルを中心に、お客様のニーズに寄り添い、クリーンな環境を創造してまいりました。

今後も引き続き、リサイクル率100%を目指して日々処理技術の向上に努め、高度資源リサイクルのあらゆる可能性に挑戦してまいります。

わたしたちの小さな一歩が、着実に、皆様一人ひとりのうつくしい未来へつながっていく、その強い想いを持って歩み続けます。

また、わたしたちは、信頼される企業であり続けるため、従業員一人ひとりが働きがいと誇りをもって、CSR活動にも積極的に取り組み、社会や環境のニーズを的確に把握し、顧客満足度の向上、コンプライアンスの徹底、環境負荷低減への活動、地域社会との共生に取り組んでいます。

これからも、地球にやさしい環境を維持するとともに、持続可能な資源循環型社会の実現、並びに2050年カーボンニュートラルを目指し、環境ソリューションカンパニーとしてイノベーションを創出し、全てのステークホルダーの皆様より信頼されるよう、ESG(環境・社会貢献・ガバナンス)経営を推進し、新しい価値の創出に挑戦し続けてまいります。



株式会社ダイトク  
代表取締役社長 星山 健



## リサイクルカンパニーとしての大きな責任

度重なる環境法令の改正等により、わたしたち産業廃棄物処理業者には、厳しい透明性や順法性、財務健全性など、さまざまなものが要求されています。

その中でも当社は、標準よりはるかに厳しい基準をクリアし、業許可の優良認定をはじめとする、多種多様な許認可や認証の取得を通じて、多くの信用を獲得してきました。

## 数々の優良認定取得で信頼を取得

優良認定処理業者の業許可取得をはじめ、ISO14001の認証や安全優良事業所の認定等、環境に携わるものとして、環境保全を経営の最優先事項として取り組んでいます。

## 失敗を恐れず努力できる社員が集う企業を目指して

「失敗を恐れるよりも真剣でないことを恐れたい」私は常に、社員たちへこの想いを伝え続けています。人に言われてするのではなく、自主的に動き、失敗から学び、次へつなげる機会点を得て成長する。故に「成功は素晴らしい。成長はもっと素晴らしい」そういう思いの人が自然と集まる企業風土のもと、やりがいのある環境作りを突き進めています。



## 高い企業品質を提供し続け、高い技術力を生み続ける

日本は“都市鉱山”といわれています。携帯電話やパソコンをはじめとする電化製品に含まれる多くの有用資源を取り出せるのは、これらが役目を終え、廃棄物となった時です。天然資源に乏しい日本において、資源の国内循環には無限の可能性を感じています。

リサイクルは奥が深く、面白くもあり難しいものでもあります。社会全体の環境意識が高まり、以前は「ゴミ」とされていたものが、リサイクルを経て資源に代わる大切な「宝」となっています。我々が、こうした循環型社会の形成に直接的に貢献できることは、大変誇らしいことだと感じています。

反面、国外への資源流出をとめ、国内循環を促進していくためには、我々が専門家として高い意識をもって熟知研究し、新しいリサイクル技術の開発を通じて付加価値を創出することが使命であると考えており、我々は業を通じてそれを達成できるという自負をもって取り組んでいます。

リサイクル業界の一員として、高い企業品質を提供し続けるために、「経済的価値・社会的価値・人間的価値」の各側面を高めるべく、グループ一丸となって努めてまいります。ステークホルダーの皆様には、当社グループの取り組みにご賛同いただくとともに、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



# SDGsへの貢献

ダイトクグループは、SDGsの目標達成に向けて、事業活動を通じて出来る事から取り組んでいます。日本全体が、少しでも早く持続可能な開発目標のゴールに到達できるよう、わたしたちは挑戦し続けます。

下図にはステークホルダーに関わるダイトクの取組のアイコンを掲載しています。

目標（特にターゲット）に貢献できる領域はまだまだ限られますが、これからも着実に、歩みを進めてまいります。

## 第1部 はじめに



トップが思い描く経営と環境に対するビジョンを全員一丸となり実現させることを目指しています。

## 第2部 事業と経営



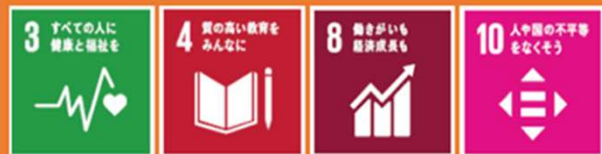
経営理念・方針、並びに戦略をもった事業活動を展開し、常に公平かつ公正な取引をもって、顧客の創造、産業界の発展に寄与することを目指して活動しています。

## 第3部 環境



環境マネジメント運用に基づき、資源循環型社会の実現に貢献し、「地球のリサイクルパートナー」を目指して活動しています。

## 第4部 労働安全衛生・人材力の向上



良い企業として、健全な企業活動を継続する為には従業員一人ひとりの力が必要です。労働災害の撲滅を目指し、全従業員が安心して働ける環境づくりに配慮しています。

## 第5部 コミュニケーション



地域や団体が主催する環境活動や社会貢献活動に関与し、地域社会の環境が少しでも良い状況へと変化することを目指して活動しています。

## 第6部 資料

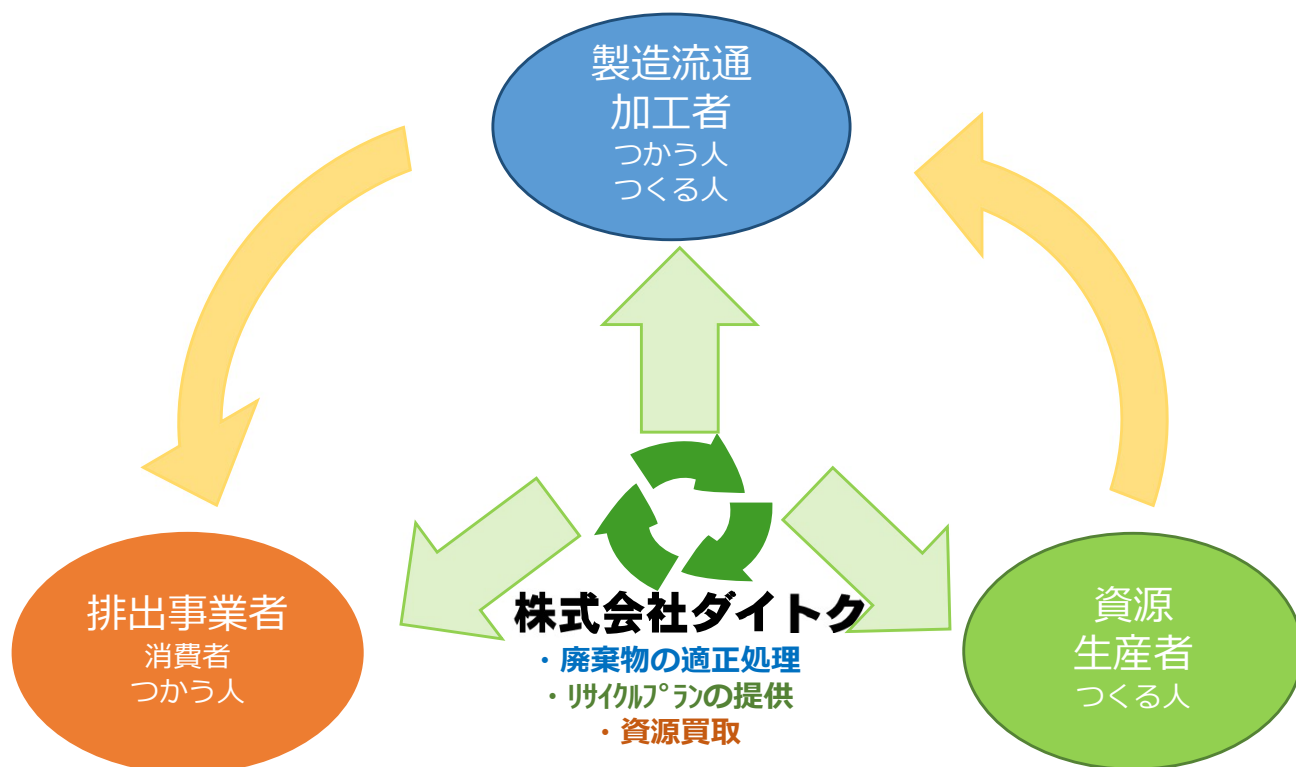


関連会社である大阪クリーンテックと共に、互いが保有するあらゆる許認可を活かし、あらゆる環境改善活動をサービスとして提供し続けています。



# ダイトクと資源循環型社会のつながり

ダイトクは適正なサービス提供の架け橋となる事をお約束します。



当社は、大阪府下に6拠点、埼玉に1拠点のネットワークを持ち、産業廃棄物の収集運搬では全国30行政から許認可を取得しています。

中間処理業の許可品目は「廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・ゴムくず・紙くず」の5品目について、破碎・切断・圧縮処理を行っており、同時に有価物の買上も行ってまいります。当社が特に力を入れているのがOA機器のリサイクル事業です。不要となったコピー機・パソコン類・サプライ品並びに部材等に至るまで幅広く取り扱っており、それらを徹底的に解体・分別処理することで高いリサイクル率を保持しています。

また当社は、99%以上と高い再資源化リサイクル率<sup>\*1</sup>を21年連続で達成しており、ご契約いただいているお客様からは、継続的に再資源化の依頼を頂いております。資源循環型社会の担い手としてお客様から厚い信頼をいただいていることを誇りに、日々邁進しています。

資源循環型社会の実現に向け、コンプライアンスの担保とコストパフォーマンスがハイブリッドで求められる時代、弊社は上図のように、社会の資源循環の大きな輪（和）の軸となれるよう、「全てのステークホルダーの皆様にとってより良いリサイクルプランの提供」を常に意識し、率先して実施しています。

これからも、社会の適正な資源循環と3Rに向けたプランの提供を継続し、資源循環型社会のニーズにこたえ続けるリサイクル先進企業として、挑戦し続けてまいります。

\*1 リサイクル総量の焼却・埋立以外のマテリアルリサイクル及びサーマルリサイクルの比率



# CSR活動の考え方

## CSR活動の推進

昨今、企業の社会的責任（CSR）が社会的に大きな注目を集め、その要求は急速に高まっています。企業は社会的な存在として、高い倫理観に基づく経営体制の基に、お客様・社員・地域社会を形成する皆様との「信頼」を大切にされた事業運営を行う責任があると考えています。私たちは、この基本姿勢のもとCSR活動に取り組み、社会から永続的に信頼され、必要とされる企業であり続けます。

## CSR基本方針

### 1. 事業を通じての社会貢献

総合リサイクル事業者として環境問題への取り組みはもちろん、安全かつ良質なサービスをお客様に提供するとともに豊かで活力のある社会の構築に貢献します。

### 2. 企業倫理

倫理や法体系、道德観などが多様であるグローバルな事業環境において、公正で誠実な事業活動を行うとともに、高い企業倫理に基づいた行動をとり、公正で透明性の高い情報開示を実施し、ステークホルダーへの責任のある対応を行います。

### 3. 環境保全活動と社会的責任意識の共有化

環境と調和し、環境に与える負荷を低減するとともに限りある資源の有効活用を行い、全ての取引先様に協力を求めて、社会的責任意識を共有化し公正かつ健全な事業活動に努めます。

詳細については下記QRコードから  
ダイトクのスマホサイトをご覧ください



ホームページ CSR活動

<https://www.daitoku-s.com/csr/activities/>



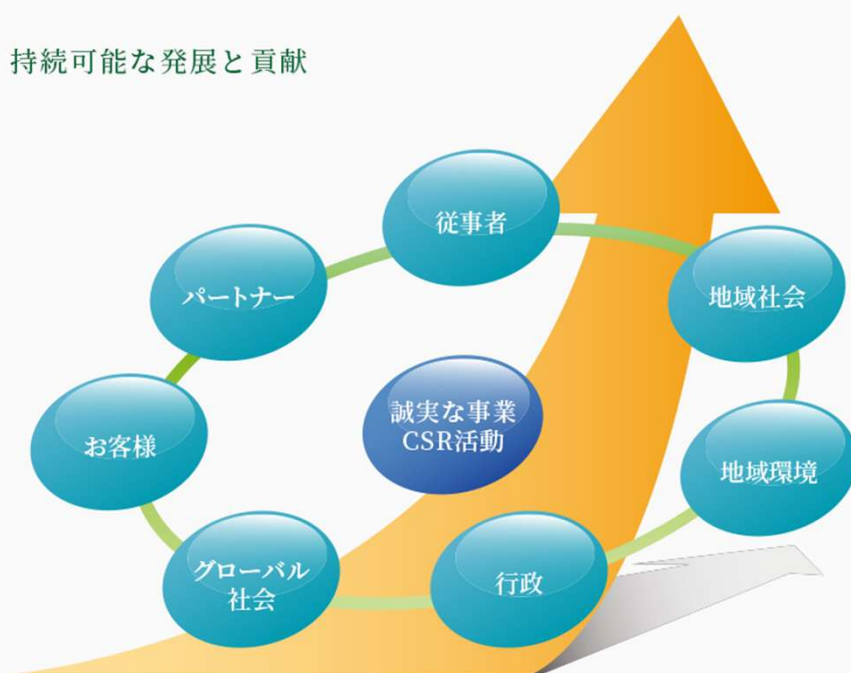
# CSR活動の考え方

## ダイトクにおけるCSRの考え方



CSRの推進を図る為に「基本理念（経営理念・経営方針・企業倫理・行動規範）」を中心として、環境と安全が骨子となり、初めてしっかりとしたCSR推進が行えるものと考えます。更に、外周に描いた「P.D.C.Aサイクル」を常に循環させることにより、ニーズの変化に対応する力、即ち「生きたCSR」に繋がります。

### 持続可能な発展と貢献



- ／ 企業・個人の成長
- ／ 安全・良質なサービスの提供
- ／ 事業を通じての社会貢献
- ／ 持続可能な環境保全



## 公益財団法人 大阪府産業資源循環協会 理事就任



2025年6月6日 公益財団法人大阪府産業資源循環協会開催の13回定時総会において、弊社代表取締役社長の星山 健が同協会の理事に任命されました。

微力ではございますが、業界における適正処理の推進・発展に最善の努力を尽す所存です。

## 能登寄付プロジェクト(第二回)への協賛



2025年6月5日に開催された「第二回のランタンイルミネーション」イベントに企業協賛させて頂きました。

前回(2025.05.17)開催された「和倉町ランタンイルミネーション」と同等のイベントへの協賛をさせて頂きました。

今回は、地元の障がい福祉サービス事業所の施設利用者と地域の方々を中心にランタン製作をして頂き、能登復興への思いが詰まったイベントとなりました。

## 公益財団法人 大阪府産業資源循環協会 会長表彰 受賞



2025年6月20日 弊社代表取締役社長 星山 健が、公益財団法人全国産業資源循環連合会の会長表彰を受賞しました。

この賞は、産業廃棄物処理事業の推進に貢献した地方功労者として多大な貢献・功績に対する表彰です。

同協会の理事として、これからも産業廃棄物処理業の発展・推進に貢献し続けてまいります。



## 令和6年度 精励従事者表彰 2名授与いただきました



大阪府産業資源循環協会主催の「政令従事者に対する会長表彰」において、令和6年度に2名（ダイトク1名、大阪クリーンテック1名）授与頂くことができました。  
この表彰は長きにわたって産業廃棄物処理業に貢献し、且つ厳正な審査を通過すると授与頂ける表彰です。

これからも社内人材育成を推進し、1人でも多くのエキスパートを育ててまいります。

## 無事故・無違反チャレンジコンテスト 摂津地区で金賞を受賞しました



大阪府摂津警察署長より、「第19回 摂津地区無事故・無違反チャレンジコンテスト」で2年連続の金賞を授与頂きました。

大阪府主催の無事故・無違反チャレンジコンテストの内、地区大会別で開催されているコンテストで定められた審査期間内に事故違反なく、評価点の最も高い「金賞」と評価頂いた結果です。

引き続き無事故・無災害を継続し、大阪府主催のチャレンジコンテストにおいても良い結果を狙ってまいります。

## 年度無災害表彰を授与いただきました



大阪府産業資源循環協会が主催する「年度労働安全衛生表彰制度」にエントリーを実施し、2年連続して年度無災害表彰の授与を頂きました。  
重大事故（労災・交通事故）が発生しておらず、協会が主催する安全講習の受講や、安全管理規定と運用状況においてその功績が認められ、受賞に至りました。  
これを5年続ければ、次のステップ「5年表彰」に繋がります。  
次のステップを目指し、社内労働安全衛生活動を継続してまいります。

詳細・過去のトピックスについては下記QRコードからダイトクのスマホサイトをご覧ください



ホームページ トピックス  
<https://www.daitoku-s.com/topics/>



# 経営ビジョン

ダイトクの根幹となる考え方として、理念・方針並びに行動規範とあり、それらを全従業員で必達するために、戦略として定めています。

## 経営理念

資源リサイクル事業を展開し、コンプライアンスを徹底した公正な企業活動を通じて、安定した経営基盤の構築を図るとともに企業の価値の向上を図ります。

## 経営方針

### 一 お客様第一主義を貫く

我々は、リサイクルの品質を高め、より充実したサービスを提供し続け、適正処理、コンプライアンスを徹底し、より多くのお客様の満足度を向上して、社会への貢献と社会の発展を図ります。

### 二 働きがいのある会社をつくる

我々は、企業を人間成長の場と考え、全社員力を合わせ、より良い人格の向上を目指して切磋琢磨し、社員一人ひとりが自分の能力を十分に発揮し、豊かな生活と明るい将来を築くことができるような企業を目指します。

### 三 限りなき挑戦を行う

我々は、企業の永續と発展は、より大きく社会に貢献することと考え、今日より明日、今年より来年へと進化を遂げ、何をすべきか、また何ができるかを追及し、実現を目指して、限りなく挑戦し続けます。

## 経営戦略

### 1 新規顧客の開拓と既存顧客の堅守

質の高いサービス提供による顧客満足度の向上  
提案型営業の促進

### 2 既存ビジネスの体質改善

処理方法の改善、処理コストの低減、事業の選択と集中

### 3 マネジメントシステムの革新

風土の革新；常に自らを変革しレベルアップして行くという一人ひとりの意識と行動が不可欠。P.D.C.Aを確実に廻して審議・検討し課題（S：安全、Q：品質、C：原価、D：納期、E：環境）の共有化と推進。



## 企業倫理と行動規範

### 企業倫理

ダイトクは、日頃の事業活動を通じ、お客様・パートナーの皆様にご安心してご付き合いを頂ける会社となるべく、行動規範を定めています。

当社の企業活動は、法令を遵守し社会倫理に則った行動でなければならず、収益を上げるためには手段を選ばないといった活動は決して認められるものではありません。

企業は人の集合体であり、その活動は個人の行動の集積です。ダイトクの全ての個人が法令を遵守し、社会倫理に則った行動を積重ねることが、お客様や地域の皆様をはじめとする全ての方々から信頼を受けることにつながり、それがダイトクが安心できる企業であることのご認識・評価を頂くこととなります。

企業も個人も、社会からの信用を築き上げるまでには長い歳月を要しますが、信用の失墜は一瞬です。企業倫理の確立は他人が与えてくれるものではなく、ダイトクで働く私達自らの行動で創り出すものであることを、ここにあらためて認識し、行動規範に則り全員一丸となって、たゆまぬ努力を続けます。

### 行動規範

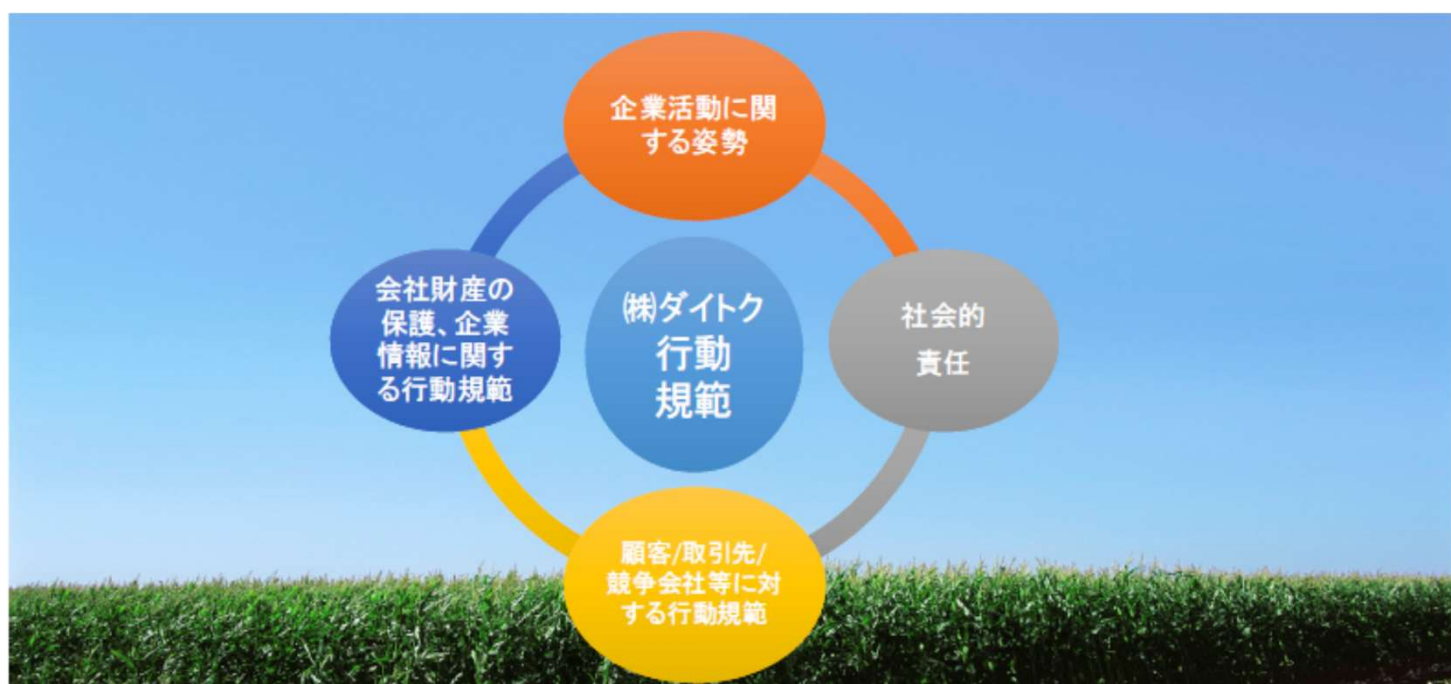
ダイトクにおける行動規範は大きく分けて「4つ」の構成で形成されており、ダイトクで働く各個人の行動に摘要されるものになっています。

詳しくは、右記QRコードから「行動規範」をご確認ください。



資料 行動規範

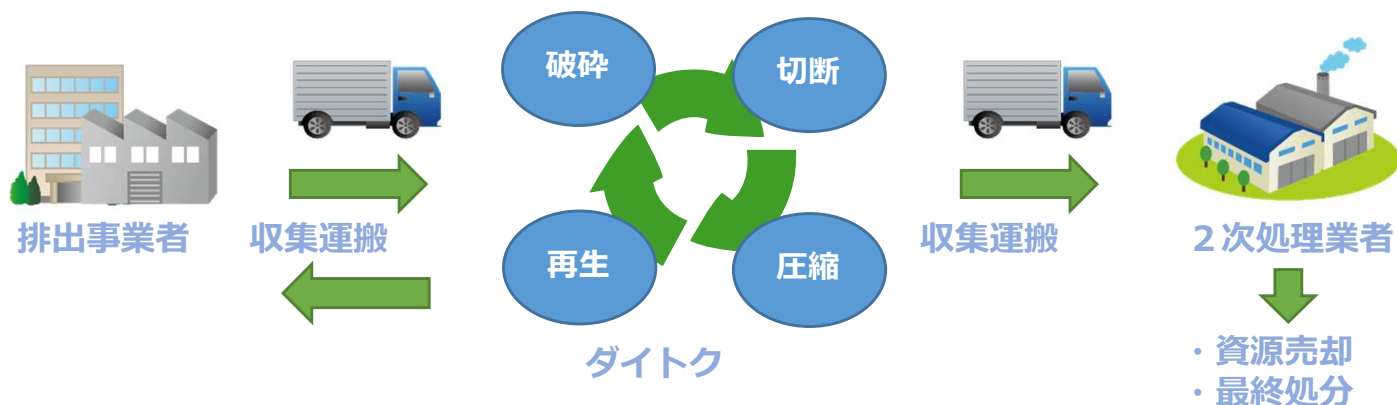
[https://www.daitoku-s.com/daitoku\\_cms/wp-content/uploads/2023/06/kihan.pdf](https://www.daitoku-s.com/daitoku_cms/wp-content/uploads/2023/06/kihan.pdf)



# 事業活動



弊社では、排出された産業廃棄物の収集運搬、中間処理（破碎・切断・圧縮）並びに再生(リユース)を行い、処理先・排出事業者様への運搬を一連の業務として行い、お客様や時代のニーズに適合した様々なリサイクル活動を展開しています。  
産業廃棄物ごとのリサイクル方法をご提案・ご提供し、少しでも多く再資源化処理出来る仕組みを構築しています。



詳細については下記QRコードから、ダイトクのスマホサイトをご覧ください



ホームページ 会社案内  
(ダウンロードページ)  
<https://www.daitoku-s.com/download/>



ホームページ  
西日本事業部 事業案内  
<https://www.daitoku-s.com/service/west/>



ホームページ  
東日本事業部 事業案内  
<https://www.daitoku-s.com/service/east-saitama/>



ホームページ  
収集運搬部 事業案内  
<https://www.daitoku-s.com/service/transportation/>





# 環境マネジメント管理

## 環境と密接した企業だからこそ担うべきこと・出来ること

産業廃棄物の処理（処分・収集運搬）を行う企業として、当社と環境は密接な関係であると認識しています。

ISO14001の環境マネジメント運用は、ステークホルダーの皆様へ安心・安全をご提供する1つのツールとして活用し、環境保全に力を入れています。

ダイトクがISO14001を認証取得してから24年が経ちました。マネジメントシステムの重要性、経営と環境の在り方等を常に見直し、ダイトク全従業員でスキルアップを図り、より良い環境マネジメント管理体制を構築していきます。

当社は、2001年3月にISO14001の初回認証取得を完了させました。そして、2014年2月の定期審査を経て、全工場の認証取得が完了。2025年1月に更新審査をクリアし、2026年1月に定期審査を終え、認証を継続しました。

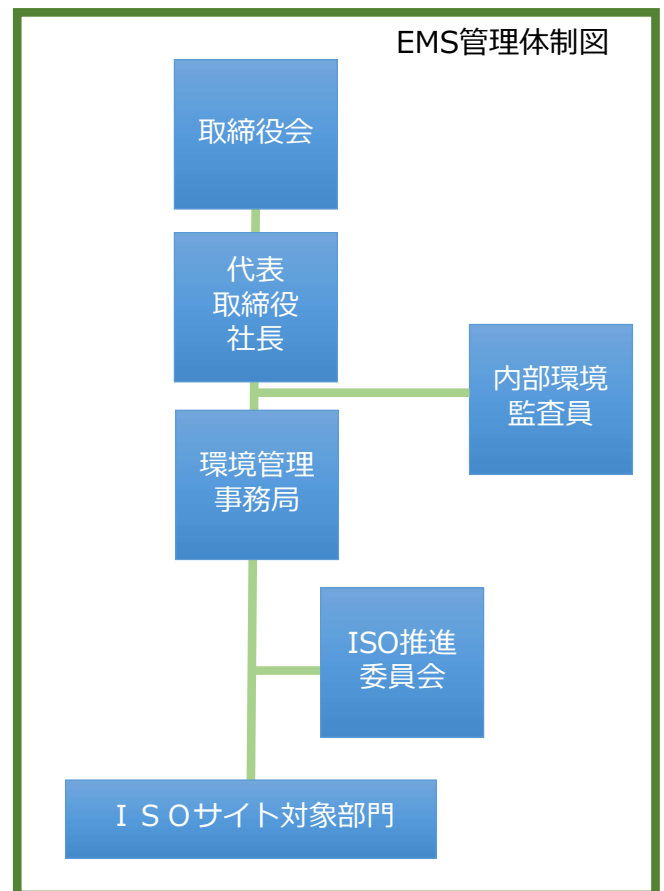


ISO14001 審査登録証

## 環境マネジメント 管理体制

環境マネジメントシステム（EMS）を運用・管理するにあたり、管理体制を右図のように構築し、策定したマネジメントプログラムの目的・目標を達成すべく、PDCAサイクルを循環させ、管理しています。

また、目的・目標の達成度合いや、環境パフォーマンスの向上を図るため、実績報告と評価を行い、最終的には遵守評価・マネジメントレビューを通して、EMSの継続的な改善に取り組んでいます。



詳細については下記QRコードからダイトクのスマホサイトをご覧ください



ホームページ 環境への取り組み

<https://www.daitoku-s.com/csr/environment/>



# 組織運営と環境とのかかわり

環境マネジメント管理活動を企業責任の一つと考え、事業活動における環境負荷を可能な限り低減させる取り組みを推進しています。

またそれらに関する法令を順守し、健全で透明な企業経営を行うサービスを提供することにより、社会の発展に貢献し、ステークホルダーから信頼される企業であり続けられることを基本的な考えとしています。

## 環境法令の順守と順守評価

廃掃法を含めた各種環境法令について、法規制情報の管理や改正情報の取得、定期的な順守評価と監査によって順守に努めております。2024年度の順守評価では改善事項はありませんでした。

## デマンド監視システムの導入

本社・工場に「デマンド監視システム」を2011年11月から導入開始しました。専用モニタによる常時監視と、オンラインによるリアルタイムな電力管理を行う事により、無駄な電力を省き、且つ電力の有効活用を図っています。

必要な資源を必要な時に「必要な量だけ」を利用する。こういった地道な努力が、CO2の抑制と地球環境保護に繋がると考えます。

## CSR報告書の発行

皆様に弊社におけるCSR活動についてより詳しい情報を掲載した一冊となっています。



## 産廃情報ネットでの情報開示

優良産廃処理業者の認定制度に沿った情報公開を実施しております。同制度の事業の透明性に関わる基準に沿って、事業内容計画・財務諸表等を情報公開しています。



産廃情報ネット

<https://www2.sanpainet.or.jp/>

## 環境目標と実績

環境目標	設定値	実績・結果	
電力効率 <sup>1</sup> の向上	新在家工場：14.74kg/kwh以上	17.22kg/kwh	○
	安威川工場：5.29kg/kwh以上	6.01kg/kwh	○
	埼玉工場：37.75kg/kwh以上	45.15kg/kwh	○
	西面工場：59.31kg/kwh以上	54.89kg/kwh	×
再資源化率の向上	新在家工場：90%以上	100%	○
	埼玉工場：90%以上	100%	○
燃費向上	柱本物流センター：4.04km/ℓ以上	4.50km/ℓ	○
	埼玉工場：3.64km/ℓ以上	4.44km/ℓ	○
運送業にまつわる義務違反、整備不良による事故の削減	重大な車両事故・災害：0件	0件	○
清掃活動を通じた継続的な地域との交流	月1回以上の清掃活動	毎月1回実施	○
有価物加工の生産量向上	前年比10%UP	15%UP	○

\*1: 1kwh消費当りの処理(生産)量

## ホームページでの情報開示

事業内容をはじめ、技術開発情報等、弊社の活動状況や最新の情報などを開示しています。





# 環境データ（マテリアルバランス）

2025年度における事業活動に伴う資源・エネルギー等の投入（インプット）と地球環境への排出（アウトプット）をまとめた環境データです。（2025年4月～2026年3月迄）資源枯渇を防ぐ為、今後も有限である資源を有効活用し、環境に与える影響を低減します。

## 事業のために投入するもの (インプット)

### 電気

本年 : 541,692kwh  
前年 : 575,503kwh  
前年比 : -5.9%

### 燃料（ガソリン・軽油）

本年 : 212,051 ℓ  
前年 : 209,687 ℓ  
前年比 : +1.1%

### 産業廃棄物、有価物 (大阪・埼玉)

本年 : 35,292トン  
前年 : 38,392トン  
前年比 : -8.1%

## 事業の結果、排出するもの (アウトプット)

### 電気

本年 : 217,496kg-CO2  
前年 : 286,418kg-CO2  
前年比 : -24.1%

### 燃料（ガソリン・軽油）

本年 : 541,293kg-CO2  
前年 : 536,479kg-CO2  
前年比 : +0.9%

### 産業廃棄物、有価物 (大阪・埼玉)

#### 産廃

本年 : 8,145トン

- リサイクル量
  - 自社処理 : 2,679ト
  - 委託処理 : 5,321ト
- 焼却・埋立量
  - 委託処理 : 145ト
- リサイクル率 : 98.22%

前年 : 9,033トン

- リサイクル量
  - 自社処理 : 2,668ト
  - 委託処理 : 6,199ト

- 焼却・埋立量
  - 委託処理 : 166ト

- リサイクル率 : 98.16%

#### 有価物

本年 : 27,147トン  
前年 : 29,359トン

ダイトク

\*電気のCO2排出係数は、各電力会社の2024～2025年度発表数値に変更しての算出。

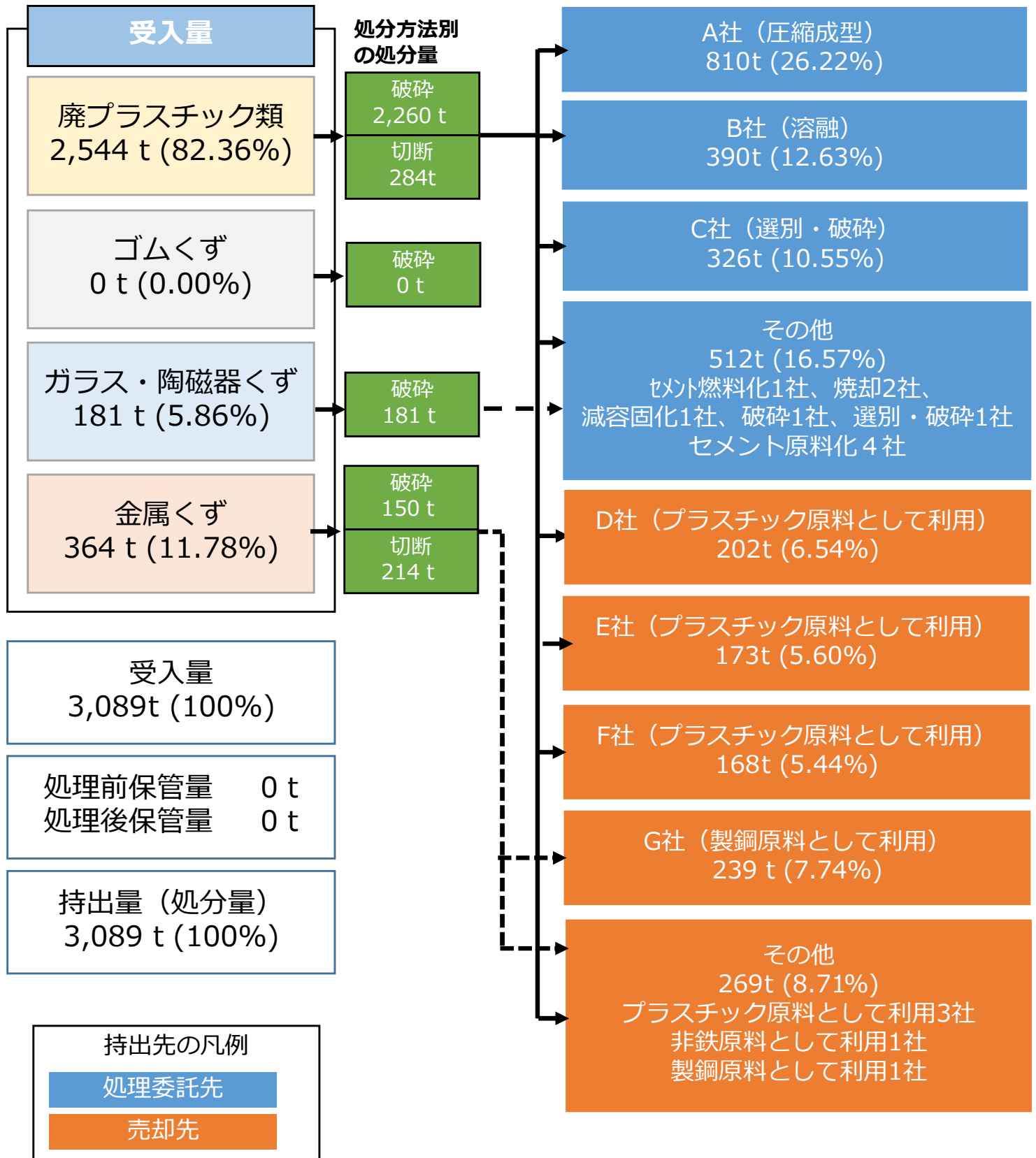


# 廃棄物フローと取扱量

## ●大阪

産廃ネットの情報公開システムで公開を行ったデータ（2025.4～2026.3）です。

\*表中（ ）内パーセンテージは、全体に対する構成比



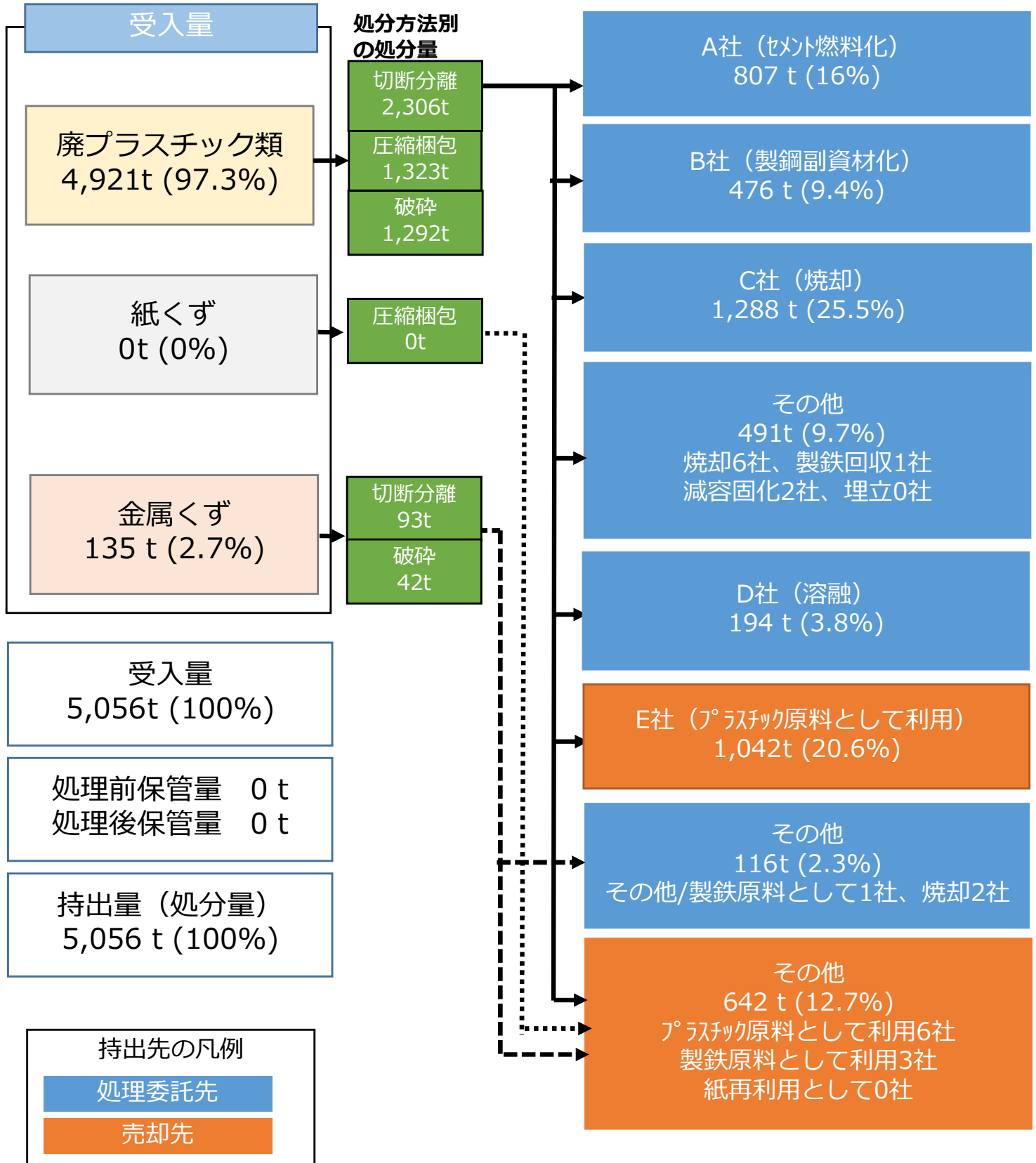


# 廃棄物フローと取扱量

## ●埼玉

産廃ネットの情報公開システムで公開を行ったデータ（2025.4～2026.3）です。

\*表中（ ）内パーセンテージは、全体に対する構成比



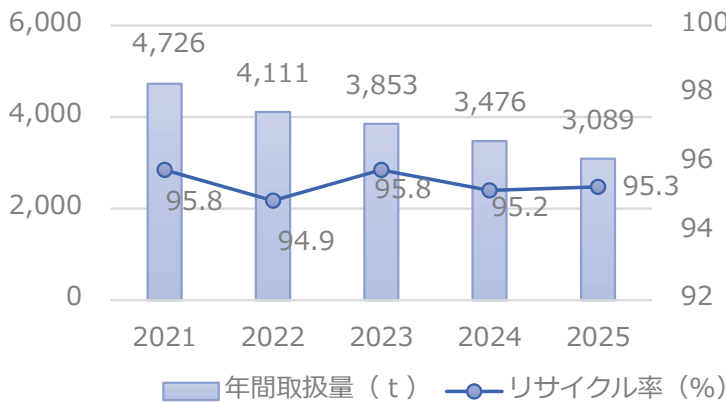


# 環境負荷の低減

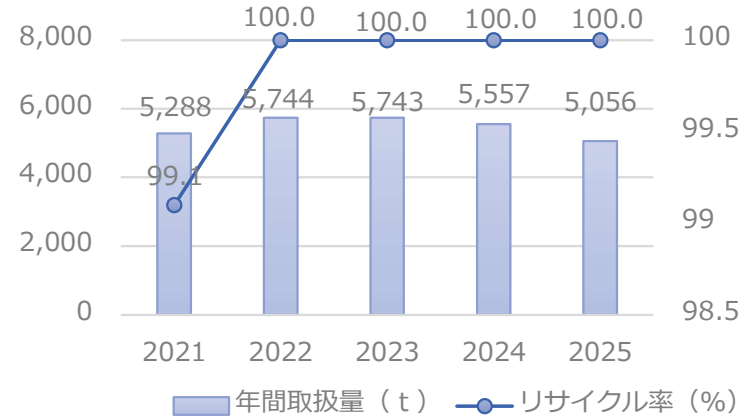
## ●環境データ推移

環境に関わる直近5年間の推移をグラフで示しています。ダイトクにおける廃棄物処理量とリサイクル率、有価物(プラスチック)の加工量、活動時におけるエネルギー使用量(電気・燃料)並びに総CO2排出量について示しています。

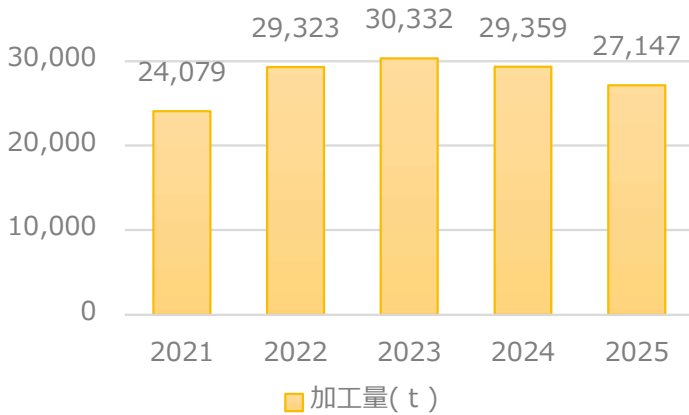
廃棄物処理量とリサイクル率 (大阪)



廃棄物処理量とリサイクル率 (埼玉)



有価物加工量(プラスチック(全体))



エネルギー使用量(電気)



エネルギー使用量(燃料)



CO2総排出量 (燃料・電気)

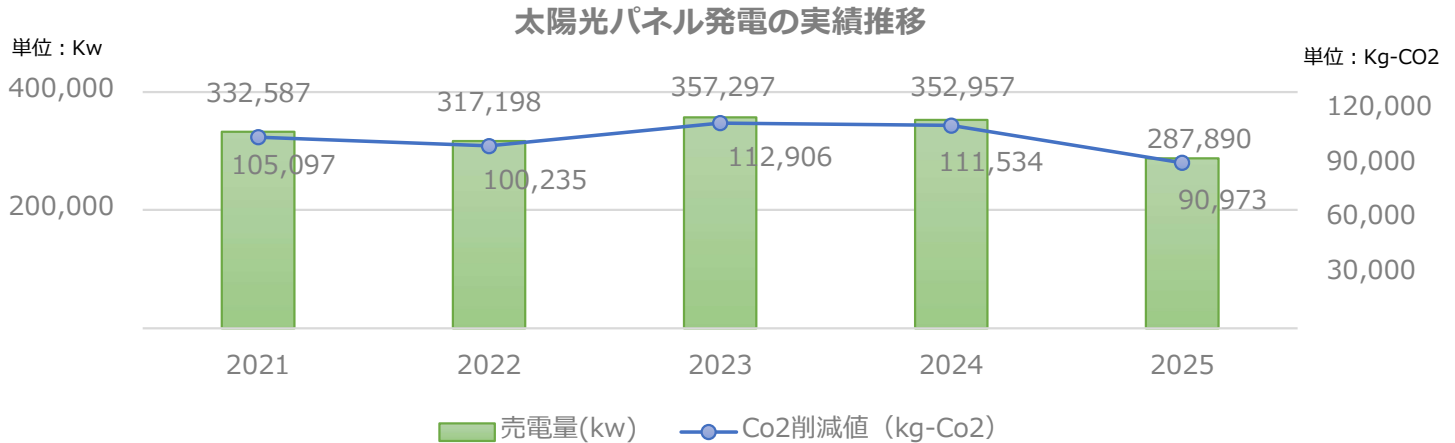




# 環境負荷の低減

## ●太陽光パネル発電の実績推移

新在家工場（2014年9月～）、埼玉工場（2015年11月～）の屋根に太陽光パネルを設置し、売電供給を行っております。売電を行うことで、電力供給の安定化・Co2排出の削減に貢献できる取組みへと繋がります。2025年度は、287,890kw発電・売電を行った結果、90,973kg-Co2の削減に貢献しました。



## ●カーボンニュートラルの実現に向けた自然エネルギーの活用

私たちの行う太陽光発電は、単に電気を生み出すだけではなく、今課題とされているカーボンニュートラルの実現にも貢献しています。太陽光発電は、自然光をエネルギー変換して電力を生み出しているため、Co2を一切排出しません。太陽光発電を推進することで、本来火力発電で使用されるはずだった化石燃料の量が減り、Co2排出削減にもつながり、その結果がカーボンニュートラルの実現に繋がるとされています。



2025年度実績「287,890kw」の発電量は、約823世帯分の月電力に相当します。これからも引き続き少しずつでも、脱炭素社会への貢献を続けてまいります。

\*1世帯(2～3人家族)：350kwで算出



# 環境負荷の低減

## ● 埼玉工場 プラスチック高度リサイクルシステム「ドックス」による環境負荷の低減効果

埼玉工場 プラスチック高度リサイクルシステム「ドックス」（以下、ドックス）を用いたリサイクル品加工事業の優位性は、何よりも高純度なプラスチックの選別・加工が、ほぼオートメーションで仕上げられることにあります。

ドックスは、様々な技術の組合せ、独自の調整・改良に加え、環境省助成制度が採択されるほどシビアに組み上げられたフローの数々が生み出した賜物です。



このシステムを用いることで、今までサーマル（燃料化）リサイクルされていたプラスチックと他の部材の混載品を高純度に選別が可能となり「エネルギー起源CO2排出量を抑制することに成功し、環境負荷低減に大きく貢献することができました。

詳細については下記QRコードから、  
ダイトクのスマホサイトをご確認ください



ホームページ  
東日本「ドックス」  
[https://www.daitoku-s.com/  
service/east-saitama/#material](https://www.daitoku-s.com/service/east-saitama/#material)

## ● 作業環境測定の実施

様々な作業環境の中で、弊社において順守すべき作業環境に「騒音」「振動」「粉塵」の3項目が挙げられます。

これらの規制値を順守すべく、関連機器の届出はもちろん、その順守状況を確認する為に毎年1回、外部機関による各種測定を実施しており、その結果をインターネット（弊社ホームページ）を通じて、随時公開しています。

詳細については下記QRコードから、  
ダイトクのスマホサイトをご確認ください



ホームページ 作業環境の保全  
(リンク先、下スクロール下段)  
[https://www.daitoku-  
s.com/csr/environment/](https://www.daitoku-s.com/csr/environment/)



# 労働安全衛生の取り組み

ダイトクでは、すべての社員が安心・安全で働ける職場環境を維持管理し、ステークホルダーの皆様にとっても安心して仕事をお任せして頂く為、労働安全衛生の順守に努めています。全社員に対して「安全は仕事の最重要課題」であると、情報配信や教育などを通じて伝達し、安全意識を持ち、管理者だけの「安全管理」ではなく「全社員参加型の安全管理」を実施しています。

## ●ダイトク 安全衛生方針

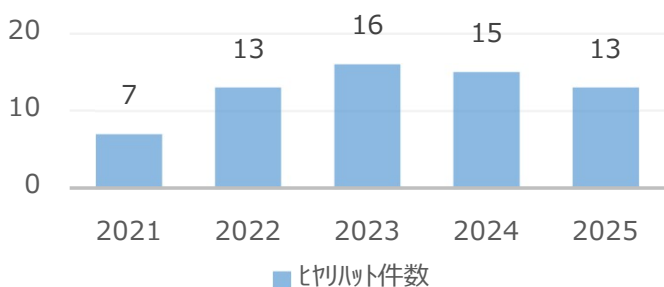
(株)ダイトクは経営方針の中に安全衛生を採り入れ、全ての従業員が安全で働きやすい職場環境を確保する。

1. 労働安全衛生に関連する法的及び当社が同意するその他の要求事項並びに社内規定類に定めた事項を順守し、労働安全衛生の推進に努める。
2. 事業活動により生じる安全衛生上の危険有害要因を把握し、職場のリスク低減及び快適職場作りに努める。
3. 従業員に対し安全衛生確保に必要な安全衛生方針並びにその他の必要事項を教育する。
4. この方針の実行にあたっては必要な経営資源を投入するとともに、効果的な改善を継続的に実施する。
5. 安全衛生方針はその適切性が持続されるように定期的又は必要な都度に見直す。

## ●合同パトロールの実施

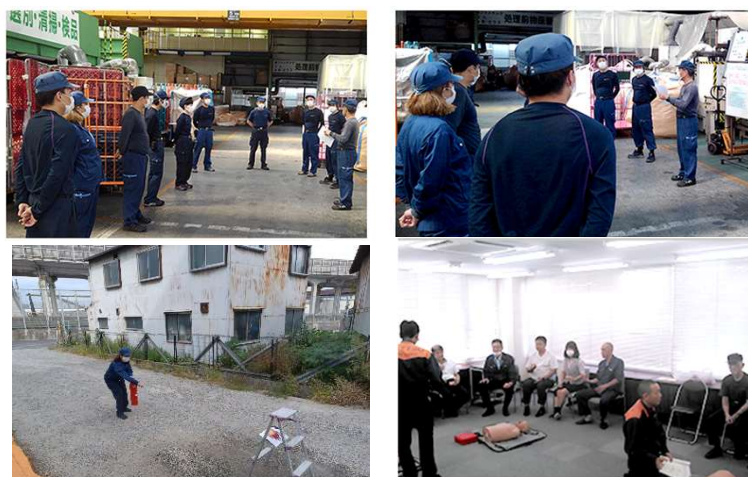
毎月第2土曜日に社長並びに役員をはじめ、各部門長全員参加の「合同安全パトロール」を実施しております。参加者が全工場を対象に「安全パトロール」を実施し、是正ポイントを指摘し合い、より徹底した職場の安全環境の確立を目指しています。尚、今年から「合同パトロール」と「リスクアセスメント活動」を一本化し、システムの改善を図りました。抽出したヒヤリハットを全員の共通認識として捉え、職場リスクの低減に努めています。

●ヒヤリハット件数



## ●教育訓練/緊急事態訓練の実施

全従業員を対象に、労働安全衛生を中心とした安全衛生に対する教育訓練を毎年の計画に沿って実施しています。また、社内での消防訓練や消防署主催の救急救命訓練も適宜実施し、正しい労働安全衛生の知識向上を図り、安心・安全の職場環境作りを目指しています。



教育・訓練風景



合同パトロール風景

詳細については下記QRコードから、ダイトクのスマホサイトをご確認ください



ホームページ 安全衛生への取組

<https://www.daitoku-s.com/csr/safety/>





# 働きがいある職場を目指して

## グループ新年式表彰

永年勤続、安全衛生 無事故・無違反達成、生産効率向上、改善提案/各種敢闘者を対象に表彰を行っています。グループ新年式を通じて表彰式を実施し、年明けからの仕事への意欲がより高まる機会につながっています。

### ●永年勤続者表彰

長期にわたり会社のために尽力を尽くしてくれた社員に対し、これまでの功績を称え、永年勤続者表彰を実施しています。

### ●安全衛生 無事故・無違反表彰

1年間の活動を通し、労働安全衛生並びに収集運搬業務における無事故・無違反活動に対して顕著な功績を収めた者及び事業場に、安全衛生 無事故・無違反表彰を実施しています。

### ●生産効率向上表彰

初年度に部門ごとに向上目標をたて、その実績を達成した部門に対し、生産効率向上表彰を実施しています。全従業員で自身の業務効率化を目指し、改善を行うことで、ムリ・ムダ・ムラが無くなり、生産（処理並びに加工）が向上することで、大きな人材力向上活動に貢献しています。

### ●改善提案表彰／各種敢闘賞

グループ全体(ダイトク・大阪クリーンテック)を対象に、全事業所に設置している「改善提案箱」の中から、最も事業改善に貢献したと称される提案と、経営トップ判断による敢闘表彰を実施しています。

全従業員で自身の作業改善案・効率化案・新規取組み案など、様々な意見をボトムアップし、経営トップに直接意見と改善を提案することで、より良い事業改善に貢献しています。



グループ表彰式の様子

### ●社員教育と教育研修の実施

社員一人ひとりが、環境・安全・業務(廃棄物処理)を理解し、何をすべきか、何を守るべきなのか外部講習や社内教育を通じて理解することで、より一層の環境保全・労働安全衛生の順守活動に繋がっています。

また、教育や研修を行うことで社員のスキルアップによる業務の幅・視野が広がり、そういった社員の働きに報い、年2回(7月・12月)の人事評価を通じたキャリアアップ制度を用い、モチベーション向上につなげております。



## エコキャップの回収

2011年4月からエコキャップの回収拠点として活動しています。

ご協賛頂いた皆様から弊社を通じて、世界の子供たちに向けた医療支援活動や障がい者支援活動などに繋がり、そして集めて頂いたキャップをリサイクルすることにより「資源循環リサイクル」として価値ある材料となり、焼却処分した際に発生するCO2の抑制にも繋がっています。

これまでの実績（2011年4月～2026年3月までの回収実績）は下記の通りです。



回収個数	CO2抑制量
129,766,712個 +2,282,412個(前年比)	904,923kg +15,522kg(前年比)

\*プラスチックキャップ 1 kg を焼却処分すると排出されるCO2量は「約3kg」とされています。

## 大阪みどりのトラスト協会への募金賛助

公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会が行っている「緑の募金」活動に長年の間、賛助させて頂いております。

9月～11月の期間を通じて、会社内に「緑の募金箱」を設置し、集まった募金を協会へ寄付しております。

寄付した募金は、自然環境保護、生物多様性・里山の保全、緑化事業や森林整備等の助成などに活用され、その活動状況も非常に活発に実施されております。

同じ環境保全を目指す者として、これからも活動の応援を継続してまいります。



©大阪みどりのトラスト協会  
<http://www.ogtrust.jp/>

## 地域清掃活動

各工場・部署において、工場周辺の美化（清掃）活動を毎日行っています。社内・工場内の清掃作業はもちろん、その周辺の清掃を全スタッフが率先して活動しています。2017年から、大阪・埼玉において美化ボランティア活動に参加するなど、活動の幅を広げています。

この地域清掃活動も業務の一環としてとらえ続け、これからも地域の皆様に称讃されるような企業で有り続けます。





## 低排出ガス車・低燃費車の導入

ダイトクにおける収集運搬車両、並びに営業車両を環境配慮型の車両の導入を推進しています。営業車両は全車両ハイブリット車を導入し、収集運搬車両については、随時低排出ガス車・低燃費車の導入/切り替えを行っております。



今年導入した新車両

○大阪（画像上段）

10tウイング、4t平、  
8tコンテナ 計：3台

○埼玉（画像下段）

10tウイング、4tコンテナ  
計：2台

詳細については下記QRコードから、ダイトクのスマホサイトをご確認ください



ホームページ 収集運搬部紹介

<https://www.daitoku-s.com/service/transportation/>



産廃ネット 詳細情報（低排出ガス・低燃費車導入状況）

[https://www2.sanpainet.or.jp/index\\_u5.php?Param1=8&Param2=85041&Param0=&menu=2](https://www2.sanpainet.or.jp/index_u5.php?Param1=8&Param2=85041&Param0=&menu=2)





# 関連会社(大阪クリーンテック)のご紹介



大阪北摂地域唯一の24時間稼働焼却炉を保有する大阪クリーンテックは、産業廃棄物の減量化・リサイクルを通じて、持続可能な循環型社会の実現に貢献いたします。

<b>当社の強み</b> Strength	<b>01</b> 大阪北摂地域唯一の <u>24時間稼働焼却炉</u>	<b>02</b> <u>80t/日</u> の焼却能力	<b>03</b> 有害物質・臭気成分・汚水 等を抑制した <u>無公害化</u>
	<b>04</b> ストーカー式焼却炉で <u>完全燃焼化</u>	<b>05</b> 各種設備の自動化による <u>省力化</u>	<b>06</b> ダイトグループとの連携で <u>収集運搬からの一貫対応</u>

## 取扱い産業廃棄物

処分業は特別管理産業廃棄物処分業2品目を含む大阪府9品目、収集運搬業は大阪府・兵庫県で各15品目の許可をうけています。

木くず	紙くず	繊維くず	
動物植物性残渣	金属くず	ガラスくず	廃プラスチック類
廃酸	廃アルカリ		

詳細については下記QRコードから、大阪クリーンテックスマホサイトをご確認ください



大阪クリーンテック(株)  
ホームページ

<https://www.osaka-cleantec.co.jp/>



## グループ内の公開情報

(株)ダイトク、並びに大阪クリーンテック(株)が保有する許可やその他最新情報については、下記QRコードから、各スマホサイトをご確認ください。



(株)ダイトク  
許可証・証明書情報  
<https://www.daitoku-s.com/company/permission/#permission-list>



大阪クリーンテック(株)  
許可証情報  
<https://www.osaka-cleantec.co.jp/service/#license>



(株)ダイトク  
ホームページ トピックス  
<https://www.daitoku-s.com/topics/>



大阪クリーンテック(株)  
環境データ公開情報  
<https://www.osaka-cleantec.co.jp/data/#information>



(株)ダイトク  
行動規範  
\* PDFデータのダウンロードが実施されます。



(株)ダイトク  
会社案内・CSRダウンロードページ  
<https://www.daitoku-s.com/download/>





# グループ公開情報

株式会社ダイトクは、セキュリティ対策に取り組む企業として、IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）が啓発・推奨している「SECURITY ACTION（一つ星）」を自己宣言しました。

\* 「SECURITY ACTION」とは、中小企業自らが情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度です。安全・安心なIT社会を実現するために創設されました。

一つ星宣言である「情報セキュリティ5か条」

1. OSやソフトウェアは常に最新の状態にする
2. ウイルス対策ソフトを導入している
3. パスワードを強化している
4. 共有設定を見直し、運用している
5. 脅威や攻撃の手口を理解している



セキュリティ対策自己宣言

この5か条をもとに今後も、情報セキュリティ対策に取り組みながら事業運営を推進していきます。

詳細については下記QRコードから、外部サイトをご確認ください



独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)

SECURITY ACTION 専用サイト

<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/>

【お問い合わせ先】

**株式会社 ダイトク**

〒566-0055 大阪府摂津市新在家2丁目1-1

TEL:06-6827-1010 (代) FAX:06-6827-5525

E-mail : [info@daitoku-s.com](mailto:info@daitoku-s.com)

HPアドレス : <https://www.daitoku-s.com>

(作成・編集担当：環境安全推進部 紺谷 良継)

人と地球に、  
もっとやさしい明日を。

---

DAITOKU  
**CSR**  
REPORT  
2026